北九州空港

【実施主体：個社】

北九州空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	賃上げを含む処遇改善に不可欠な受託料の引き上げ	委託先との契約金額の見直し	処遇改善を含む賃上げ等、委託先社員の還元を前提として、契約金額に値上げを反映し実施済み。	
		契約元への受託料引上げ交渉の実施	小型機等の燃料給油量の少ない機体への給油に関する手数料の値上げを実施。	
【短期】	人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化（キャンセル料の設定　等）	委託先の人材確保を下支えするための契約条項追加	最低保証料金の設定や品質連動制度等、委託先の経営の下支えやモチベーション向上に繋げられるような契約条項について、順次、追加設定を進めている。	
		契約元へキャンセル発生時の取り扱いについて交渉実施	航空機への給油予定が入り人員等を配置したが、突然キャンセルや給油無しとなった場合のスタンバイ料の設定を実施。	
【短期】	職場環境改善に向けた取組の推進			
【短期】	職員負担の集中を回避するための正確な現状把握	職員数や労働時間の定点的な情報収集	職員の負担を定量的に把握し改善に繋げていくため、配員バランスや採用状況、労働時間の定点的な情報収集を実施。	
		最適稼働人員数の見直し	復便に伴い、最適稼働人員数を見直し、配置人員を増やすことにより、稼動人員の最適化を実施。	
		勤務体制の見直し	運航便に合わせ勤務体制の変更を行い、集中する時間帯の負担軽減を図った。	
【短期】	適切な業務量調整による高負荷の抑制	マルチタスク職員の拡充	旅客担当者に運航支援者資格を取得させ、兼務発令兼務化により、繁忙部分へ人財を派遣できる環境を整備し、業務を平準化。	

【実施主体：個社】

北九州空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	適切な業務量調整による高負荷の抑制	業務分担表の見直し	業務分担の見直しを行い、一部の職員に集中する業務を軽減させた。	
【短期】	採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）	既卒社員の採用	中途採用を実施し、深夜帯国際線チャーター等に対応	
		大学生、専門学校生へのインターンシップや業務見学、専門学校入学希望者、退職予定自衛官への業務見学会を実施	従前からのインターンシップや在校生のみならず、早期の段階から空港へ足を運んでもらい、業務見学会を通じて当業界への希望者増加へつなげる。	
		・賃金ベースの改定 ・年間休日の改定	職員の生活環境を向上させ、同時に競争力を持った採用を進める為、大幅な賃金UPを実施。 また、年間の公休日数は110日⇒120日へ増やし、従業員の待遇改善を実施。	
【短期】	教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）	e-learningの採用	導入座学や共通座学訓練のe-learning化により、移動に係る期間を短縮すると共に、基地含め同日で訓練が実施でき訓練（業務）効率の向上が図る。	
		自社規定の見直し実施	教育カリキュラムの短縮を行い、資格発令が早く行えるよう改善を行った。	
		リモート訓練の取り入れ	移動を伴う教育をリモート訓練を積極的に活用することで期間短縮に繋がった。	
【短期】	需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入	当社内空港所間での人員支援	急激な需要回復に人員配置が追い付いていない状況下、空港所間での人的支援を行っている。	

【実施主体：個社】

北九州空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【中期】	長期に誇りを持って勤められるキャリアパスの整備			
【中期】	ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	需要増に向けた燃料タンク増設に向け関係各社との調整	北九州市を含めた行政とタンク増設に向けた調整を実施中	
【中期】	特定技能制度の積極的な活用			
【長期】	短時間労働やマルチタスク化を含む多様な働き方の実現			
【長期】	業務内容や技術に応じた賃金の設定			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	人件費圧縮競争を防止する観点からの多重委託構造や雇用慣行・契約慣行の見直し（保安検査における長い拘束時間の見直し　等）			

【実施主体：空港会社等】

北九州空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	空港内の労働環境の改善			
【短期】	空港の知名度を生かした採用活動	保安検査員、グランドスタッフ等のホームページでの募集		https://www.kitakyu-air.jp/rev-recruit.html
		北九州空港業務インターンシップに伴う空港業務の実習	空港業務に関するインターンシップを実施。 （空港会社社長からの講義、各事業所での業務説明・見学、テナント研修、イベント参加実習を実施。）	
【短期】	マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修			
【短期】	空港WGの活用推進			
【中期】	GSE車両の共用化・共有化の推進	航空機ハンドリングに必要なGSEを保有し、KKJに就航するエアラインに貸し出し。（貨物便主体）	・自走・非自走含め113台のGSEを所有 ・北九州空港に就航している全てのエアラインへ貸し出し可 （賃貸借契約を締結） ・GSE毎に使用料金を定めて使用回数に応じて料金を請求 ・主に貨物便のハンドリングに使用	・各エアライン毎では無く、空港会社が所有し貸し出す　形を取る事で、GSEの効率的運用の実現およびCO_2削減に効果あり ・貨物便の運航を行う際にエアライン自身がGSEを準備・保守するという負担が軽減し、他空港に比して新規誘致に効果あり。
【中期】	男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進（「旅客は女性」等のイメージの払拭、更衣室等の施設整備等）			

【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	スマートレーン等の先進機器の導入			
【長期】	サプライチェーン等を意識した効率的な設備配置に向けた調整			

【実施主体：地方自治体】

北九州空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーション強化（人員体制等の正確な現状把握等）	定期的な情報交換	定期的に協議の場を設け、就航の動向や予定、各社の人材確保や現場の状況についてお互いに情報交換・共有を行っている。 現場の状況を的確に把握することで、路線の誘致にもタイムリーな情報を航空会社に提供している。	・各社の計画的な人材確保が可能 ・航空会社への的確な情報提供が可能（就航時期の判断）
【短期】	空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施	人材不足分野雇用促進事業 （福岡県正社員チャレンジプログラム）	国の「地域活性化雇用創造プロジェクト」を活用し、特定の人材不足分野において、スキルアップ支援が必要な求職者等を対象とした人材育成等の支援を行うとともに、業界団体と連携したマッチング支援等を実施。	
【短期】	空港業務支援も誘致支援の一部と位置付けた上での関係部局（観光、産業振興　等）と連携した支援の実施			
【短期】	空港WGの活用推進			
【中期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討			
【中期】	特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			

【長期】	持続可能な観点からの戦略的な路線誘致（交通部局と観光部局との緊密な連携）			
【長期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の充実			

【実施主体：国】

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	各地の空港におけるベストプラクティスの横展開（事例収集・整理　等）	公表されたベストプラクティスの空港WGへの展開・周知。	公表された「持続的な発展に向けた空港業務に係る取組事例集」を空港WGへ展開・周知。	
【短期】	地域の意欲的な取組への積極的な協力 （空港説明会への参画等）	空港周辺の大学生を対象とした空港業務合同インターンシップに伴う空港見学の実施	空港ビル会社が主催する空港業務に関するインターンシップにおいて、空港事務所の業務説明、庁舎屋上からの空港見学及び消防車両の見学実施に協力。	
【短期】	生産性向上・業務効率化の実現に向けた取組支援（先進機器の整備補助　等）	地方空港等受入環境整備事業費補助金	国の補助金の活用に向けた積極的な周知・取り纏め等	
【短期】	各主体による取組の重要性の発信	「空港業務の持続的発展に向けたビジョン」の再周知	「空港業務の持続的発展に向けたビジョン」について、各主体の取組の更なる浸透を図るため空港WGを開催し再周知。	
【短期】	空港WGの活用推進	課題整理及び対応可能な課題の取組実施	空港WGを通じ、各社が抱える問題等を共有し課題整理を行い、対応可能な課題について取組実施。	
【中期】	空港DXの導入促進に向けた実証実験	他空港の導入事例等の横展開	空港WGにおいて航空局HPに掲載されているベストプラクティス等の他空港事例について横展開を行った。	

【実施主体：国】

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【中期】	更なる支援措置等の検討（人材確保・育成、業務効率化、GX/DX等）	WGへの情報発信 補助事業の情報発信	R5.11に行われたR5補正補助事業にかかる説明会の案内、質問対応及びR5.12に空港業務体制強化支援事業応募要領等の周知、調整を実施。 R6.5地方空港等受入環境整備事業費補助金説明会の案内、R6.6補助事業活用にかかるニーズ調査実施、R6.7地方空港等受入環境整備事業費補助金説明会の案内、R6.9地方空港等受入環境整備事業費補助金（空港業務体制強化支援事業＜処遇改善及び生産性向上に資する取組の推進＞）公募の周知、R6.8R5補正第4次・R6第2次 補助事業（空港業務体制強化支援事業）公募、地方空港等受入環境整備事業費補助金（空港業務体制強化支援事業＜人材育成の推進＞）公募案内、R6.9R5補正第5次・R6第3次補助事業（空港業務体制強化支援事業）公募案内、R6.11総合経済対策決定に伴うR6補正事業に関する説明会の開催案内、R6.12R6補正補助事業（空港受入体制強化支援事業）公募案内、R7.1地方空港等受入環境整備事業費補助金（空港業務体制強化支援事業＜人材育成の推進＞）公募案内	
		補助事業希望者への対応 補助金制度申請希望事業者との調整	補正補助金制度の申請希望事業者に対し、対象の確認等、関係部署との調整、助言を実施	
【長期】	先進技術等の開発・実証、更なる活用の推進	WGへの情報発信	持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会の開催結果について、航空・空港関係者に対し情報を共有。	
【長期】	業界ルール整備を前提とした、専門学校との連携強化や共同訓練の推進	WGへの情報発信	持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会の開催結果について、航空・空港関係者に対し情報を共有。	関係者において、航空関係の専門学校向けに見学会を実施。（令和6年度は1回、7名参加。専門学校以外を含めると8回実施。そのうち1回は大学生のインターンシップとして空港事務所も参加している。）
【長期】	処遇改善・業務効率化等に必要な保安関係料金の適正水準のあり方の検討	WGへの情報発信	持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会の開催結果について、航空・空港関係者に対し情報を共有。	

【実施主体：国】

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【長期】	必要に応じた制度的見直し	WGへの情報発信	持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会の開催結果について、航空・空港関係者に対し情報を共有。	
【長期】	空港に関する基礎的データの収集・整理（職員数、年齢構成、年代別年収、離職率　等）	WGへの情報発信	持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会の開催結果について、航空・空港関係者に対し情報を共有。	